

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況について

(平成18年3月31日現在)

平成18年5月

株式会社 滋賀銀行

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況について(平成18年3月31日現在)

基本的な考え方

- 当行は、創立以来マーケット・イン（お客さま本位）の考えに立ち、地域社会との「共存共栄」の理念を追求してまいりました。そして、平成16年4月からスタートした新世紀第2次長期経営計画では、メインテーマである「ビジネスモデルの変革による収益力の強化」を实践し「企業価値の向上」に努めております。また、今年のキーワードを「進化」と定め、3つのブランドイメージ（「知恵と親切のしがぎん」「アジアに強いしがぎん」「CSRのしがぎん」）の確立に努めており、それに基づき「地域密着型金融推進計画」を推進しております。

大項目ごとの主な取り組み

1. 事業再生・中小企業金融の円滑化

- 創業・新事業支援機能等の強化
 - ・当行は、ニュービジネスへのサポートを多面的に展開するため、「サタデー起業塾」の展開をはじめ、産・学・官・金（金融）連携による地域結集型のニュービジネス支援ネットワーク「しがぎん『野の花応援団』」の積極的な取り組みを実施しております。平成17年度においては、「サタデー 起業塾」を5回開催し、大学のシーズと参加者のシーズのマッチングの可能性を探ってまいりました結果、平成17年度においては46件の産・学・官・金（金融）の橋渡しをお手伝いいたしました。また、平成9年から取扱いを開始した3,000万円までなら無担保でもご融資する「しがぎんニュービジネスサポート資金」の平成17年度の実績は、4件の1億2,000万円となりました。（平成9年取扱い開始以降の累計 85件1億8,500万円）
- 経営相談・支援機能の強化（アジア進出ニーズに対するサポート）
 - ・香港支店、上海駐在員事務所、アジアデスクおよび営業店が連携して、お客さまのアジア進出ニーズに対するサポートに努めてまいりました。各チャネルのアテンド件数は、次のとおりです。
香港支店：294件 上海駐在員事務所：302件 アジアデスク：481件 合計 1,077件
- （医療コンサルティング機能の強化）
 - ・平成17年10月、営業統轄部内に医療開業サポートチームを設置し、税理士、医療経営コンサルタント、医療関連業界との連携を図り、医療開業情報の一元化とスピーディーな対応で、平成17年下期に合計41先の医療開業サポートを行いました。
- （資金調達手法の多様化に対する取り組み）
 - ・スコアリングモデルを活用し、スピーディーに融資可否を回答することができ、無担保で第三者保証人不要のビジネスローン「企動力」を11月に発売いたしました。発売開始からの実績は623件の30億2,700万円となりました。
 - ・滋賀県、地域金融機関、滋賀県信用保証協会との協働による「第2回コラボしがCLO」に当行はアレンジャー兼オリジネーターとして参画し県内の中小企業に対して証券化を利用した資金提供を行いました。CLO全体では69億円の融資実行となり、その内当行の融資額は52億円となりました。
 - ・シンジケートローンのアレンジメント業務について、平成17年度に4件の19億円の引受けを行いました。
- （事業再生に向けた取り組み）
 - ・「企業経営支援室」を中心に、取引先企業の経営改善指導に取り組んだ結果、平成17年度の経営改善支援の取り組みによるランクアップの実績は23先となりました。

2. 経営力の強化

(リスク管理・収益管理態勢の充実)

- ・バーゼルでは、平成17年3月基準の国内影響度調査(フィールド・テスト)、平成17年9月基準のQ I S 5に参加するとともに、承認申請に向けて内部管理態勢を整備し、リスク管理態勢の高度化を目指してまいりました。
- ・また、信用リスクに前向きに挑戦する審査体制を確立するために、平成17年5月からの試行結果を踏まえ、10月より「審査体系再構築」の正式運用を開始いたしました。

(データベースマーケティングシステムの店頭セールス、外交活動への活用強化)

- ・コールセンターと営業店およびe しぎんプラザの連携により、住宅ローンおよび預り資産の販売強化をした結果、ダイレクトチャネルが関与した平成17年度の住宅ローンの実行は、1,330件221億円、預り資産においては2,118件54億円となりました。

3. 地域の利用者の利便性向上

(環境関連、防災関連商品の提供)

- ・当行は、琵琶湖の湖畔に本店を有する地方銀行として、環境関連商品の提供を通じ、また近年の防災意識の高まりを受け、防災関連商品を開発し提供することによって、お客さまと環境に対する配慮や防災意識を共有化していくために、地域のお客さまのニーズに合った質の高い金融サービスを提供しております。
- ・「持続可能な企業と地域社会」を実現するために、平成17年12月に「しがぎん琵琶湖原則(略称PLB)」を定め、PLBに賛同いただいた事業先を対象に「しがぎん琵琶湖原則支援資金(PLB資金)」の取扱いを開始しました。取扱開始以後の融資実績は101件16億4,500万円となりました。
- ・平成17年8月1日よりエコ住宅や耐震住宅の建築資金について金利を最大1.2%優遇する「エコ&耐震住宅ローン」の取扱いを開始し、その販売実績は、848件184億円となりました。
- ・「しがぎんエコプラス定期」預金の平成17年度の実績は、161,614件1,178億円となり、平成15年4月発売以降の累計実績は、498,090件3,908億円となりました。

(お客さまの声を経営に反映させる仕組み)

- ・平成17年10月に「CS向上委員会」を設置しお客さまの声を経営に反映させるための体制整備を実施いたしました。
- ・お客さまのご意見をいただく電話アンケート(CSコール)を平成17年9月および平成18年2月の2回にわたり実施いたしました。その中で、いただいたご意見、ご要望をもとに、業務改善および商品開発など、サービスの向上に反映させてまいります。

地域密着型金融推進計画における数値目標の進捗状況について（平成18年3月31日現在）

目標項目	目 標	実 績	実績に対するコメント
ROE（単体）	5%以上	4.27%	当期純利益は2期連続で100億円台を達成しており、引続き、目標達成に向けて収益力の強化に取り組んでまいります。
OHR（単体）	60%以下	68.10%	経費削減に努めた結果、OHRは前期比較2.91%改善いたしましたが、まだなお高水準にあり、引続き経費削減に努めてまいります。
自己資本比率（連結） Tier 比率（連結）	11%以上 8%以上	11.25% 7.53%	自己資本比率については、目標を達成しております。Tier 比率についても引続き達成に向けて努力してまいります。
不良債権比率 （金融再生法ベース）	2%台	3.05%	金融再生法開示債権の残高は前期比89億円減少し、不良債権比率は前期比0.46%改善しており、引続き不良債権減少に取り組んでまいります。
CSR 取組項目 地球温暖化ガス（CO ₂ ）削減	6%削減	5.33%	CO ₂ 削減量は、441.1tとなりました。各取り組みにおけるCO ₂ に換算した削減量内訳は、次のとおりとなりました。 電力使用量削減272.2t、 植樹による吸収125.2t、 本業における取組30.2t、 公用車環境対応車への切替13.5t
FP案件相談件数	1,600件以上	1,252件	FP業務定着により相談件数も安定推移しております。
アジア進出ニーズに対する アテンド件数	1,800件以上	1,077件	お客様のアジア進出ニーズに対して積極的にサポートを展開する中、各チャネルにおけるアテンド件数は、次のとおりとなりました。 アジアデスク：481件、香港支店：294件 上海駐在員事務所：302件
エコ&耐震住宅ローン実行件数	1,800件以上	848件	平成17年8月の発売開始以後、現在まで順調に推移しており、今後についてもエコ・耐震に対する関心度は高く、増加が見込まれるものと考えております。
しがぎんエコプラス定期預金 累計獲得件数	665,000件以上	498,090件	発売以降順調に推移しております。引続き地域貢献に努めてまいります。